

# 令和8年春の叙勲

<春の叙勲>

瑞宝单光章

消防功勞



じゅんこう  
戸村 純厚 さん  
(71歳 田沢湖卒田)

元仙北市消防団副団長。昭和62年に田沢湖町消防団へ入団。37年余りの長きにわたり地域防災活動に尽力し、副団長として団員を支えながら、災害対応や火災予防に大きく貢献されました。また、訓練指導にも力を注ぎ、地域住民の安全・安心を守るため献身的に活動されました。

<春の叙勲>

瑞宝双光章

消防功勞



だいさう  
佐藤 乃三 さん  
(72歳 田沢湖神代)

元仙北市消防団団長。昭和57年田沢湖町消防団に入団。令和5年から令和6年まで団長として活躍。入団より42年余りの長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして、火災予防に尽力されました。また、団員の指導育成、技術の向上に務められました。

社会の各分野で長年にわたり多大な功績を挙げられた方々に対し、国がその栄誉をたたえ、表彰する令和8年春の叙勲の受章者が発表され、秋田県内の受章者60名のうち、仙北市からは次の2名が受章されました。  
(※年齢は、受章時を掲載)

## 新しい民生委員・児童委員を紹介します

＼1人で悩まず 抱え込まず 私たちにご相談ください！／

令和8年3月24日付けで、6名の方に厚生労働大臣から委嘱状が交付されました。地域福祉の向上のため活動する民生委員・児童委員を紹介します。お気軽にご相談ください。

- ▶ 渡邊 孝徳 ☎ 54-2438  
担当地区：表町、川原町、歩行町
- ▶ 戸嶋 修 ☎ 54-2684  
担当地区：荒屋敷、小倉通り、西野川原西部
- ▶ 佐藤 恵子  
担当地区：鎧畑、坂下
- ▶ 高橋 宗生 ☎ 090-7066-4062  
担当地区：男坂上・下・横町の一部
- ▶ 佐藤 晴子  
担当地区：上門屋、屋敷田、入江、道目木
- ▶ 布谷 美喜子  
担当地区：中里、小滝



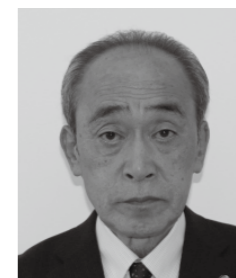
左から田口陽三会長、戸嶋修さん、渡邊孝徳さん、高橋宗生さん、田口市長、佐藤恵子さん、佐藤晴子さん、布谷美喜子さん

## 市議会議員改選後初議会

議長に武藤義彦氏、副議長に高橋輝彦氏を選任

市議会議員一般選挙後、初めての令和8年第3回仙北市議会臨時会が5月12日に開催され、議長に武藤義彦氏、副議長に高橋輝彦氏が選出されました。各常任委員会の構成などは市ホームページに掲載しています。

ホームページ→



議長  
武藤 義彦



副議長  
高橋 輝彦

## めぐりついた今、仙北市

～インド育ちの協力隊員、西木で暮らしはじめました～

Nice to meet you!

今年の1月から着任した、長村牙樹(おさむらさえき)です。引っ越してからあっという間に暖かくなってきました。本当に早いですね。正直、最初の3か月は冬に負けないよう必死に雪かきをしながら、生活リズムを模索していました。私は東京生まれで、5歳のときに親の仕事の都合でインド南部のタミル・ナドゥ州チェンナイ市に移り住みました。英語で授業を受け、40℃近い暑さの中で外を走り回っていたのをよく覚えています。当時はあまり日本人がチェンナイにいない時代でしたが、そんな小さな日本人会でもよく運動会など親の懇親会で誰かの家に集うことが多かったです。今振り返ると楽しくて不思議な幼少期でした。

小学5年生の頃、2006年のサッカーワールドカップの時期に東京へ帰国し、千駄ヶ谷にある小さな学校、鳩森小学校に通い始めました。インドでは治安の関係で車で通学していましたが、日本では初めて歩いて通学することを経験し、とても感動したのを覚えています。「日本は本当に安全なんだな」と実感しました。そして何より、その頃はとにかくサッカーに夢中でした。それから、どのようにして秋田へとつながっていったのかについては、これから少しずつ自分の過去を振り返りながら書いていけたらと思っています。今は西木での暮らしにも少しずつ慣れ、熊におびえながら山菜を採ったり、小さな畑に挑戦したりしています。

地域おこし協力隊に着任する前は、アーティストとして主に音楽やダンスの分野で活動していました。最近は演奏の機会は少なくなりましたが、秋田での理想の暮らしを模索しています。少し驚かれるかもしれませんが、今年は「冷蔵庫を使わずに生活する」という、ちょっと不思議なチャレンジをしています。今の私は、できるだけ消費を減らした暮らしに憧れているのかもしれませんが。協力隊業務では、主にグリーンツーリズムの推進サポートをして、農泊や体験でのインバウンド対応などに携わっています。英語での対応は得意なのですが、

日本語でこのように文章を書くのは、小学5年生の頃の作文以来であり、非常に良い勉強になっています。最近は日々、仙北市での暮らしを通して、自分が生まれた国について改めて学ばせていただいています。また、「秋田弁」という新しい言語も勉強中で、将来役に立つと信じて少しずつ教えてもらっています。見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。良かったら歌いますし、踊ります。これからの夏、そして秋田での暮らしがとて楽しみです。どうぞよろしくお祈りします。

せばへばな～



教育旅行受入れ家庭への訪問の様子



# 学びを支える、地域の担い手たち

～生涯学習奨励員に委嘱状を交付～

生涯学習奨励員は、地域住民の学習活動を奨励・支援し、生涯学習を活発にするために委嘱しています。

今年度は新たに3名の奨励員が加わり、それぞれ得意分野でサークル活動や公民館活動を通じ活躍していきます。

やってみたいことや体験してみたいことなどありましたら、奨励員や公民館、生涯学習課にご相談ください。

【生涯学習奨励員】(敬称略)

会長	赤川 和子	委員	黒澤 美鈴
副会長	千葉 薫	委員	小松 龍子
副会長	新山 正雄	委員	館花 久子
委員	阿部 栄子	委員	黒澤 あけみ
委員	荒木田 真由美	委員	小林 正人
委員	小田嶋 比左子	委員	信田 千鶴子

任期は、令和9年3月31日までとなっています。



# 樺細工の未来を、桜から育てる

～伝統産業連携による桜の植樹・育成プロジェクト～

4月20日、かたまえやま森林公園で「伝統産業連携による桜の植樹・育成プロジェクト」が行われました。会場には樺細工産業に携わる多くの関係者が集まり、地域の伝統産業を次世代へつなぐ新たな取り組みとして、参加者全員で植樹作業に汗を流しました。

このプロジェクトは、角館の伝統工芸である樺細工に関わる問屋や伝統工芸士などが連携し、原材料となる桜の木を地域で育て、将来にわたり安定的に確保していくことを目的としています。産地が一体となり、伝統産業を支える資源を自らの手で育てていく取り組みです。当日は約2メートルのヤマザクラの苗木50本を丁寧に植樹し、支柱も添えました。4月とは思えないほど暖かな陽気のなか、参加者は苗木運び、土をかけ、水を注ぎながら、未来への願

いを込めて作業を進めました。市の後継者育成制度を活用して修業を始めた太田 空さんは「良い原料を確保したい。師匠の技を学びたい」と汗を拭きました。

樺細工の原料はこれまで主に岩手県や福島県から仕入れており、県産は1割に満たない状況です。こうした背景から、産地として原材料を育てる必要性が高まり、今回の事業が開始しました。なお、今回植樹した苗木は、公益財団法人日本さくらの会の「宝くじ桜寄贈事業」により仙北市へ提供されたものです。

今後は植樹した桜の育成を含め、20年間にわたり継続的な管理を行っていく予定です。地域の伝統文化と産業を守り育てる取り組みとして、樺細工産地の持続可能な未来につながる事が期待されます。



善意ありがとうございます

## 角館感恩講が角館こども園にテントを寄贈

一般財団法人「角館感恩講(佐々木誠 理事長)」より、角館こども園にテント2張(463,200円相当)が寄贈されました。

4月27日に佐々木理事長をはじめ感恩講の皆さまが角館こども園を訪れ、園児たちの前でテントを組み立て、一緒に記念写真を撮りました。

感恩講では、これまで室内の遊具などを寄贈していましたが、今年はこども園との協議のうえテントをプレゼントすることになりました。

角館こども園では、今後、運動会などの野外行事やサッカー大会などに活用していく予定で、子どもたちの野外での活動がさらに広がりそうです。



角館感恩講の佐々木誠理事長(右)  
社会福祉法人はなさき仙北の倉橋典夫理事長(左)

## 十五日会が児童書を田沢湖図書館に寄贈

4月28日、十五日会(稲田修 会長)から田沢湖図書館に児童書32冊をご寄贈いただきました。

この善意には、子どもたちが本に親しみ、読書の楽しさに触れてほしいという十五日会の皆さまの思いが込められています。寄贈いただいた児童書は、人気の絵本や読み物など、子どもたちに親しまれる本として館内に並んでいます。ぜひご来館ください。



左から長谷川善樹副会長、稲田修会長、信田昌史館長

# (百寿) おめでとうございます

次の方々が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが送られました。



佐藤ナヲエさん  
(西木町上荒井)  
4月17日生まれ



千葉ミツエさん  
(角館町西長野)  
4月20日生まれ



鈴木イヨさん  
(角館町八割)  
4月26日生まれ

## つながる交流、広がる絆

～姉妹都市・連携交流都市物産展を開催～

角館の桜まつり期間中の4月18日、19日、旧仙北市役所東勝楽丁庁舎跡地にて「姉妹都市・連携交流都市物産展」を開催しました。会場には、長崎県大村市のカステラ、茨城県常陸太田市の常陸秋そば、秋田市のきりたんぼなど、各地自慢の逸品が勢揃いしました。

地元でしか手に入らない特産品も多く、会場は連日多くのお客さまで賑わいました。各地の出展者と笑顔で言葉を交わす姿も多く見られ、食を通じて交流を深める充実した時間となりました。



## 台湾・澄清湖との交流 40周年に向けて

田沢湖と台湾・高雄市にある澄清湖は、1987年11月4日に姉妹湖提携を締結して以来、台湾とは友好的な関係を築いてきました。来年には40周年の節目の年を迎えることから、現在、仙北市国際交流協会が中心となり、記念事業の準備を進めています。

市民の皆さまが台湾の文化に親しみ、理解を深めるような機会づくりにも仙北市と協力をしながら取り組んでいきます。

今後もこれまでの交流の歩みや、記念事業に向けた情報などを随時お伝えしていきます。

### 仙北市国際交流協会とは？

産業、文化、スポーツ、教育など幅広い分野における国際交流活動を通じ、国際親善に寄与することを目的として活動する、市内企業および個人で構成する団体。

### 【問合せ】

仙北市国際交流協会事務局（交流デザイン課） ☎ 43-3353

仙北市および仙北市国際交流協会の台湾交流状況

年月	主な出来事
1987年11月	姉妹湖提携を締結 以降、相互訪問や5年ごとの周年事業を実施
1990年12月	澄清湖に訪問し、「辰子飛翔の像」を贈呈
1991年10月	澄清湖訪問団を迎え、「 <small>いんすいしげんぞう</small> 飲水思源像」の受贈
2011年8月	玉川温泉と北投温泉が「 <small>べいとう</small> 北投石が結ぶ温泉連携協定」を締結
2015年10月	角館高等学校と国立師範大学附属高級中学が姉妹校締結
2018年12月	角館中学校と台中市立惠文高級中学が姉妹校締結
2019年4月	生保内中学校と台北市立北投国民中学が姉妹校締結
2022年12月	田沢湖マラソンと高雄マラソンが友好交流に関する覚書を締結
2023年5月	<small>ひととたえ</small> 一青妙氏を仙北市台湾親善大使に任命
2027年度	姉妹湖締結40周年記念事業実施予定



台湾学生と宿泊先農家民宿との対面式の様子



仙北市に訪じた台湾関係団体をお出迎えている様子

## 笑顔を守る、交通安全の学び

～生保内小学校で交通安全教室～

4月30日、やわらかな日差しが降り注ぐ中、生保内小学校において交通安全教室が開催され、同校の全校児童とだしのこ園の年長児が参加しました。

この教室は、仙北警察署や安全運転管理者協会田沢湖支部、交通安全協会田沢湖支部などの共催により、交通ルールの確認と自転車の安全な利用を目的に実施されたものです。

だしのこ園の園児と小学1・2年生は、警察官の説明を受けながら、校庭に設置された信号機や横断歩道を使い、正しい横断歩道の渡り方を練習しました。また、3年生以上の児童は、自転車の正しい乗り方について学びました。

参加した子どもたちは、交通安全への意識を高め、日常の登下校や外出時における安全な行動の大切さを改めて確認していました。



## 甘さと会話が広がる、春の教室

～仙北市教育委員会 若手職員企画「春の和菓子作り教室」～

4月23日、田沢湖健康増進センターにて、仙北市教育委員会の若手職員による企画「春の和菓子作り教室」が開催されました。本教室は、市民同士の交流の場を提供し、公民館を身近に感じられる環境づくりを目的としています。また、若手職員の能力向上を図る一環として実施されました。

平均年齢約20歳の若手職員が自らのアイデアを活かし、参加者が楽しんで学べるような事業を企画しました。今回の教室では、市内在住の60～70代の方々が多く参加され、和菓子作りを通じて楽しい時間を共有しました。

教室では、「フルーツ大福」と「桜ようかん」を作りました。料理を完成させるため、お互いに協力し合いなが

ら作業を進める姿が見受けられました。このような共同作業は、単に料理を作ることに以上、参加者同士の交流を深める貴重な機会となりました。

この和菓子作り教室は、参加者が普段は経験できない手作りの楽しさを体感し、また、公民館を利用することで地域とのつながりも感じていただけたイベントでした。

